

暖かい日には自転車でイチゴ狩りに出かけましょう！

2014/03/07

「さわの森農園」の苺といろいろな寄り道

今回の目的地は、千葉市の観光農園のページで紹介されている（※）、加曾利町にある「さわの森農園」。澤守秀勝さんと久美子さんがご夫婦で営んでいる苺園。

3月8日にアポなしで取材に訪れた。冷たい風の吹く日だったが、ハウスの引き戸を開けて中に入るとポカポカと温かい。久美子さんがせっせとパック（トレイ）に苺を詰めていた。苺の品種は甘みが強い「紅（べに）ほっぺ」。とても大きな粒の苺にはびっくり（下の写真8）。「しょいかーご」などで販売されているとのこと。

小生は我が家へのお土産として手ごろな値段のものを一パック購入。その日の晩と翌朝、食後のデザートとしていただいた。紅ほっぺの甘くてしっかりした新鮮な食感に、家族は大満足。

さわの森農園のイチゴ狩りは3月25日から。開店は午前10時だが、苺が無くなり次第閉店となる。水曜日はお休み。あらかじめ予約して出かけるるとよい（電話090-4675-4893）。

今回の記事の題名は「苺サイクリング」と謳っているが、途中に寄り道して楽しめるところがいろいろある。行きは、千城台野鳥観察園、稲荷神社、梅畑など。帰りは、縄文ほおじろの森、加曾利貝塚、縄文の森、滑橋貝塚など。全行程10km弱のルート。春の一日を存分に楽しんでいただけることでしょう。

※ さわの森農園が出ている千葉市の情報

1. 「千葉市：千葉市内イチゴ狩り・始まっています！」のページ
<http://www.city.chiba.jp/keizainosei/nosei/nosei/ichioshi!info-ichigogari.html>
2. 「ちばの観光まるごと紹介 さわの森農園」のページ
http://www.kanko.chuo.chiba.jp/c_event/8365/

園主からのメッセージ

「食べておいしい、もらって嬉しい」イチゴです。ご自分で食べていただくのはもちろんのこと、「このイチゴを誰かに贈りたい！！」そう思ってもらえるように、心をこめて世話をしています。私たちも、大切な人へのプレゼントだと思い、一粒一粒を大切に扱っています。イチゴ以外にも季節の野菜を作っていますので、名前を見かけた際には、手にとっていただければ幸いです。

私たちは、平成22年に、他産業からイチゴの栽培を目指し、農業界へ飛び込みました。不安や苦勞もたくさんありましたが、多くの方々のご支援のもと、夫婦二人で協力し、ここまで来ることができました。感謝の気持ちを忘れず、これからもがんばっていきます。そんな私たちの「さわの森農園」へぜひ遊びに来てください。直売や摘み取り（時期限定）もできます。

【出典】 以上は『頑張ってます！千葉市の農家！』から引用させていただきました。

<http://www.city.chiba.jp/keizainosei/nosei/nosei/noukashoukai-sawamori.html>

【お願い】

ルートの選定にあたっては、子供連れの家族が走ることを想定して、国道・県道など交通量の多い道路を通行することは極力避けるとともに、そのような道路を横断する場合には、信号のある交差点を通るようにしています。しかし、すべてそうであるとは限りませんので、常に安全第一で行動してください。サイクリングによって生じた事故は自己責任でお願いします。



【ルートマップの表示について】

上の地図は千葉都市モノレール千城台駅を起点・終点とするルートを示しています。

- ・ 地図をクリックすると拡大・縮小可能な地図が表示され、地図の左の欄に距離、所要時間が記されています。
- ・ 拡大・縮小は、地図の左にあるプラス（+）ボタンまたはマイナス（-）ボタンをクリックすることにより行います。
- ・ 地図の右下にある三角のボタンをクリックするとルートを自動的に辿り、位置と高低差のグラフの変化が表示されます。
- ・ 地図にある吹き出しの上にマウスポインターを重ねると、その場所に関する情報が表示されます。

【経路のあらまし】

千城台駅前～千城台野鳥観察園～稲荷神社～梅畑～小倉大橋（坂月川）～梅畑～さわの森農園～縄文ほうじろの森～加曾利貝塚～縄文の森～滑橋貝塚～小倉台公園～千城台駅前

千城台駅前から「さわの森農園」へ

【道案内】 (行き)

千城台駅前のラパークの建物に沿って時計回りに進み、千城台交番の交差点を渡る。

左側に若葉図書館、若葉文化ホールを見ながら道なりに進む。

坂を下ったら千城台西小学校の手前の交差点を左折して道なりに進む。

右側に千城台野鳥観察園を見ながら進む。

T字路に突き当たったら横断して右折し、歩道を進む。

注意： 車道ではなく歩道に行くこと。すぐ先の細道に入るためである。

左に細道があるのでそこをそこを入り道なりに進む。

注意： 急坂なので、無理なら自転車を降りて押して歩くとよい。

坂上の三差路を左折し道なりに進む。

左側にある小倉霊園を過ぎると銀杏並木通りに出る。

注意： 信号がない交差点を横断するので十分に注意して横断する。

銀杏並木通りを渡ると左角に「稲荷神社東口参道入口」の標識がある。

細道を道なりに進む。緩やかな下り坂を左に折れる（写真1）。

【寄り道】 左折する道の向こうに「稲荷神社東口参道」の標識がある。稲荷神社に寄り道するのもよいだろう。神社へ行くには直進して細道に入り、すぐに左折し、道なりに行く。たがて神社の駐車場に至る。左には「稲荷神社」の看板が見える（写真2）。

参考情報： 稲荷神社に関しては、次の記事でも紹介されている。

1. 『若葉区の史跡めぐり』 「稲荷神社（小倉町）」

http://wakaba-chiba.mypl.net/mp/shiseki_wakaba/?sid=21970

2. 『歩いてみたい・若葉区再発見』 「小倉町 ゆく年くる年」 稲荷神社の「除夜祭」

http://wakaba-chiba.mypl.net/mp/history_wakaba/?sid=21182

坂を下り、道なりに進む。道は稲荷神社を大きく回り込む感じである。

2つの三差路を過ぎ、右側に真浄寺、続いて稲荷神社の参道入口がある。

左側に梅畑（写真3）。ちょうど満開だった。続いて、百日紅（さるすべり）畑もある。



写真1. 「稲荷神社東口参道」の標識。神社は直進して道なりに行く。



写真2. 「稲荷神社東口参道」を行くとやがて左に「稲荷神社」の看板が見える。

道は三叉路に至る。そこを左折して、坂月川に架かる小倉大橋を渡る（写真4）。



写真3. 梅畑（小倉大橋より少し手前の道の左側）坂を上り、Y字路（変則的な十字路でもある）を左へ進む。



写真4. 小倉大橋から坂月川の下流は護岸工事が行われている。

右側に「桜が丘特別支援学校」を見ながら進み、十字路を直進し、道なりに進む。

やがて左側に梅畑が見える（写真5）。

右側に苺の幟が立っている所を右折すると目的地のさわの森農園のハウスが見える。



写真5. 梅畑。この先の「いちご」の幟の所を右に入ると（写真6へ）



写真6. 「さわの森農園」のハウスが目に入る。看板はない。ハウスの入り口を開けて入る。そこは売店である。イチ

ゴをパック（トレイ）にセットする作業も行われている。右には苺栽培のハウスへの入り口になっている。ハウス内には高設栽培の苺が整然と並んでいる（写真7）。ハウス内の写真を撮らせていただいたが、案内して下さった久美子さんは「赤い苺はあまりないですよ」と言う。赤い苺は朝のうちに収穫されてしまったためだ。



写真7. さわの森農園の苺ハウスの内部。高設栽培の苺が整然と並んでいる。



写真8. 久美子さんとの会話で話題が大粒の苺になり、目の前で選びながらセットして下さった大粒の苺。

「さわの森農園」から千城台駅前へ

【道案内】（帰り）

さわの森農園を後に、来た道を引き返す。

十字路の交差点を左折し、道なりに「小桜通り」に向かって、ほぼ直進して進む。

「小桜通り」の信号がない交差点を渡り、道なりに進む。

住宅街を通り抜けると、「縄文ほうじろの森」に至る（写真9）。

森の中の遊歩道を進み、谷津田を越え、加曾利貝塚の裾にある遊歩道に入る（写真10）。

加曾利貝塚の裾の遊歩道を直進すると、道はやがて一般道となる。



写真9. 右の案内板には「縄文ほうじろの森」とある。

左側に千葉市桜木園（重症心身障害児施設）、桜林高等学校を見ながら道なりに進むと、五差路の交差点に至る。そこを右折する。



写真10. 「縄文ほうじろの森」経由で加曾利貝塚に入る。

五差路を右折し、道なりに進み、左に折れたらすぐ右に折れて進むとT字路に突き当たるので、そこを左折する。

やや急坂である。上りきったところを鋭角的に右折し、細道を道なりに進み、右に松林を見ながら進むとT字路に突き当たるので、そこを右折する。

少し行くと右の松林の道路際に「縄文の森特別緑地保全地区」の説明板がある（写真11）。

道なりに進み、右にアートヒルテニスクラブがある辺りから、道は左に曲がりながら緩い下り坂となる。

T字路に突き当たったら右折し、緩やかな坂道を下って行き、十字路に出る。

【寄り道】 十字路を右折して緩い下り坂を進むと右の竹林の道路際に「千葉市文化財 滑橋貝塚」の説明板がある（写真12）ので、それを見に行くといだろう。そこには、坂月川を挟んで、西側に加曾利貝塚、東側に滑橋貝塚があること、などが記されている。



写真11. 「縄文の森特別緑地保全地区」の説明板



写真12. 「千葉市文化財 滑橋貝塚」の説明板

滑橋貝塚の説明板のところから、先ほどの十字路へ戻り、そのまま直進すると、信号のある交差点に出る。信号に従って直進する。右側には小倉台公園がある。公園の奥に水洗トイレがあるので、必要ならここでトイレ休憩とする。

小倉台公園を後にして進むと、道はやがて、三叉路に至る。三叉路の左の道を進み、道なりに直進する。

T字路に突き当たったら左折して進み、十字路を右折して進み、右側に千城台北小学校を見ながら進み、十字路を横断して進むと、やがて左側に徳洲会病院、右側に小さな公園（城北公園）が見える。その公園の外れの十字路を右折する。

公園の脇の細道はすぐに広い道に突き当たるので、左折し、すばらく行くと、右側にマンション（千葉県営住宅）が見える。

県営住宅が終わったところの三叉路を右折し、直進すると、千城台駅前に至る。